



地域デビューでまちづくり.....

# FRONTIER

## 防災と市民活動

### 東日本大震災と支援活動

**東** 日本大震災から1年になりますが、昨日のように思い起こされます。

白井市の被害は、東北3県などの被災地に比べ軽微でした。テレビ報道を見て、明日は我が身との思いで、被災地の方々への支援が必要だと感じました。早速、市民活動サークル仲間と白井市役所に出向き横山前市長、当時市民経済部長だった現伊澤市長に、被災者の受入、被災地への支援物資、原発放射能対策などを相談し、『場所などのハード面は市役所、作業などソフト面はボランティア』を提案しました。被災者の受入は福祉センターで実現し、被災地への支援物資集めはボランティアセンターと協働で実現しました。市民活動サークルの方々が大勢参加しました。サークルに参加されている方は、日頃の活動で顔見知り、趣味、価値観など共通点があり、更に連絡網があるので一気に活動を広げることができました。また、支援物資集めも、この連絡網を通じて広がり3月24日～27日実質3日半で段ボール250～260個が集まりました。

遠い被災地への支援活動は、サークル仲間へ声が掛けやすいですね！

### 南関東直下地震(首都直下地震)

**近** 頃、政府・東京大学などが試算した南関東でM7クラスの地震が起こる確率が報道されています。いずれも高い確率で、いつ来てもおかしくないと言われています。

東日本大震災では白井市は震度5強でした。関東巨震と同じ規模の直下地震が起きた場合、平成14年の白井市地域防災計画(白井市直下型地震想定)によれば、市域全域で震度6強の揺れが生じると推定されています。被災した時に備えて、白井市・社会福祉協議会(ボランティアセンター)では、災害時の連絡体制、外部からの支援受入体制、ボランティア組織など検討を進めていますが、被災から72時間以内は個々の地域(町内会、自治会レベル)で問題に対処することが前提になっています。

各家庭では、家具の固定化、水・非常食の常備、災害用伝言ダイヤル(171)などの防災の備えが大切です。いざ、災害発生時には、『我が身の安全確保』が最優先、家族の安否を確認し、一段落後に近所の方々の安全確認、救出、避難所への避難、誘導かと思えます。

被災した時は、サークル仲間も併せて、隣近所の方々との助け合いが極めて大切です！

白井市は地盤の堅固な地域と言われていますが、日頃の備えは大切です。

柏木雅浩(白井駅前広場を守る会)



平成22年 白井市防災訓練(七次台小学校)

### 急がれる除染対策市民と市の協力で

白井市は、福島原発事故による放射能汚染被害の重点地域（千葉県で9市）に指定され、住民の健康、なかでも将来を担う子どもたちへの影響が心配されます。こうしたなか市内のお母さん達による「白井子どもの放射線問題を考える会」が結成されました。活動の様子を久保山会長・柴共同代表の二人に聞きました。

#### 一「会」を立ち上げたいきさつ、目標は？一

3.11から私たちをとりまく環境は一変しました。特に福島原発事故による放射線被害は、東北地方だけではなく、私たちが住む白井にも強く及んでいます。このままでは、子どもたちの将来がとても心配で、会を立ち上げました。昨年9月頃から活動を続けています。子どもたちは私たちが守らなければ、誰も守ってくれません。

目標 ①子どもたちを被爆による現在及び将来の健康リスクから守る。②3.11以前のレベルの安心を取り戻す。会員は10名です。

#### 一活動内容はー

まず知ること、そして考えること、話合うことが大切と考え、月1～2回のおしゃべり会を開いています。あわせて、子供たちが生活する場所の汚染、食品の放射線量の測定、汚染された食料から学校給食を守ることを要望し、市に申し入れてきました。また、学校、保育園などにも除染を行うように働きかけています。

#### 一これからの活動方向はー

おしゃべり会を続けながら、同じ思いの人を増やす。ブログなどを活用して広報活動を強める。専門家や他地域（活発な松戸市）とも手をたずさえ活動を強化。又、行政への働きかけを続けていくことなどおこなっています。しかし、子どもたちを抱えながらの活動には限度があるので、会の趣旨に賛同し、一緒に行動してくれる人を求めています。他団体の方々とも活動の輪をひろげていきたいと思っています。（取材 大石・田中）



西白井複合センターにて展示

# NEWS



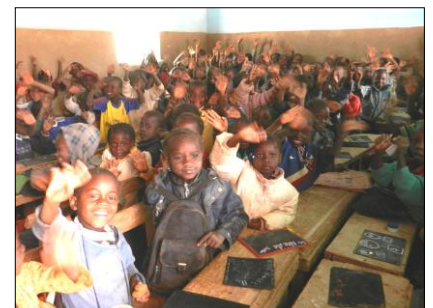
## 認定NPO法人「日本ブルキナファソ友好協会」(JBFA)

### ブルキナファソに学校を建設

西アフリカの内陸国「ブルキナファソ」で17年間活動している、認定NPO法人「日本ブルキナファソ友好協会」(JBFA)が5校舎目となる小学校を完成させ、2012年1月21日に、校舎の引渡し式が盛大に執り行われた。基礎教育識事大臣やコムシルガ市長をはじめ、多くの方々より感謝の言葉をいただき、現地では喜びの声で溢れている。

今回完成したのは、首都ワガドゥグから車で20分、コムシルガ市のカバネ小学校で、床面積280平方メートルの校舎2棟。建設前は、約500名の児童が藁葺きで造られた簡易校舎で学んでいたが、新校舎が完成する頃には1280名のマンモス校になっていた。国造りには教育は不可欠で、JBFAでは今後も教育事業に力を入れていく方針だ。

また、白井市とカバネ小学校の関係は、2010年11月27日、白井第一小学校の現職校長が同校を表敬訪問したのをきっかけに、海外学校交流がスタートした。その後は文房具やサッカーボールの寄贈、絵画の交換などを行っており、記憶に新しいところでは、2011年11月22日に、テレビ電話を利用してリアルタイムでTV会議を行うなど、交流を深めている。（松山倫政）





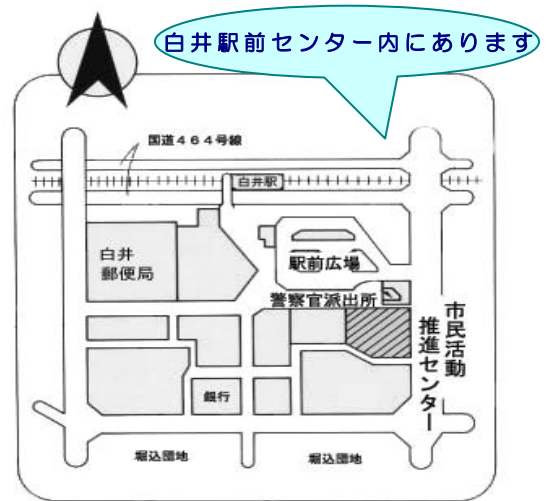
# 市民活動推進センター

市民活動を行っている方たちや  
これから市民活動を始めようとする皆さんの「情報」  
「活動」「交流」の場として、市民活動を応援します

## だれが使えるの？

白井市内で、市民の自発性・自立性に基づいて、広く社会一般の利益を目的とした（公益的な）活動を継続的に行っている団体、または行おうとしている方が利用できます。但し、営利活動や宗教活動、政治活動等を目的とする活動は除きます

\* 印刷機・コピー機・紙折り機・パソコン・作業室・情報コーナーが利用できます。



## 市民活動推進センター登録団体になりませんか！

登録対象は・・・白井市市民活動推進センターを使用できる上記の団体が登録できます。

登録方法は・・・「市民活動団体等登録申請書」に必要事項を記入し、総会資料又は活動内容のわかる書類を添付して、推進センターに提出して下さい。

※申請書は、市民活動推進センターのホームページ <http://shiroi-sk.org> からダウンロードしてください。

※登録説明会を平成24年3月24日（土）午前10時から保健福祉センター3階団体活動室において行います。

## 受付期間は？

推進センターでは、団体活動の推進を図るため登録制度を導入しています。平成24～25年度（2年間）の登録は推進センターで平成24年4月4日（水）～5月31日（木）受け付けます。

## 登録すると・・・センターを有効に活用できます



会議室

\* 2ヶ月前から電話予約を受け付けています



連絡ボックス

\* 団体相互の連絡やチラシの配付などに利用してください



団体専用ロッカー

\* 団体が備品などを一時保管するのに便利です



丁合機

\* 印刷した用紙のページを組合せる機会です



## 受付・相談

市内の市民活動団体を紹介します。

活動に関心のある方は、お気軽にご相談ください。

「なんでも・いつでも相談」を行っています。



# 第5回しろい市民活動まつり



12月3日(土)、保健福祉センターにて“第5回しろい市民活動まつり 2011”が開催されました。当日は約600名の参加があり、展示・体験・販売・演奏ともに多くの市民の皆さんで賑わいました。

東日本大震災を経験して、人々が互いに助け合う力が、どれだけ重要であるかという事を今まで以上に教えられました。市民の皆さんに市民活動を理解してもらい、認識を深めてもらい、積極的に市民活動に参加をしていただく・・・といったきっかけになってくれることを願っています。

「まつり」を大きく盛り上げてくれた皆様ありがとうございました。  
これからも交流の場として利用していただけたらと思います。



## 新登録団体紹介

### NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ (NALC) 東葛拠点

ナルクは、ニッポン・アクティブライフ・クラブの略で、“自立・奉仕・助け合い”をモットーに、庭の手入れ、家事援助、子育て支援などのボランティア活動する全国組織のNPO法人です。活動の特徴は、ボランティア活動をした時間(1時間1点)を預託(貯金)しておき、自分にボランティアが必要になったとき預託しておいた点数を引き出し、その時間を無料でボランティアが受けられます  
問合せ:ナルク東葛拠点事務所 Tel.044-441-0227

## 掲示版 ★ポーランド大使講演会★ (第22回)

初めての女性大使による日本語での講演。  
在日14年で日本の古典文学に造形が深く、著書も多数。第2部としてポーランドの民族舞踊及びピアノ演奏(ショパンの曲)

日時:4月7日(土) 14:00開演~16:00(予定)  
場所:白井文化会館 中ホール  
入場:無料  
問合せ:白井国際交流協会 Tel.492-9060(佐々木)

## ★深澤 功 コントラバス・リサイタル★

日本音楽界で注目のマエストロ:深澤 功氏が、白井に登場!  
朗々と歌い、心に沁み入る『メロディ楽器』コントラバスの響きを、春のひとときに、是非、お楽しみ下さい。

**収益金** ①東日本大震災復興義援金「日本赤十字社」をメインに、②白井市(芸術文化事業)、③白鳥の会(調整池水質浄化事業)に寄付。

日時:4月21日(土) 14:00開演  
場所:白井文化会館 中ホール  
入場:2,000円 (全席自由) 電話予約受付中!  
問合せ:SINCS 白井自然と芸術文化の会  
事務局 Tel.080-4727-8718(平田)

**編集後記** 東日本大震災の発災後、白井市は災害ボランティアセンターの立上げが出来るの?との声をよく聞かれますが、災害に備えて立上げ訓練をしています。社会福祉協議会が家具転倒防止金具や火災報知器等の取り付けボランティアを行っている「しろいおたすけ隊」の協力を得て、市の防災訓練に併せ災害ボランティアセンターを立上げボランティアの受入れ訓練を実施しています。一面の写真です。しかし、まだまだ不十分です。行政・市民が一体となって行政との連絡体制、支援受入体制、ボランティア組織との協働など、より一層充実したすばやい活動が出来る強固な体制の構築を期待します。

フロンティアは市民団体の活動を多くの方々に知らせるとともに、活動に賛同し参加する手助けになればと発行されています。本年度は編集委員会発行となりましたので、毎号、市民が知りたいこと、市民に知らせたいことを特集しました。31号(本年初号)は「新市長の市民活動についてのスタンス」と「3・11東日本大震災に対する市民の活動」を、32号は市民活動の“わ”として「しろい市民活動まつり」を、33号は「防災と市民活動」と「子供を持つ親として放射線問題に取り組んでいる団体」を紹介しました。市民の皆さんにとって少しでもお役にたてばと願いつつ、この1年、ご愛読、本当に有難うございました。

平成23年度フロンティア編集委員会委員長 加藤恵泉 編集委員一同

# FRONTIER

白井市市民活動推進センター

白井市堀込1-2-2 (白井駅前センター内)  
Phone: 047-498-0705  
E-mail: npo-461@bz01.plala.or.jp